

琉球大学学術リポジトリ

琉球辞令書の一覧表と収集現況

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2007-06-12 キーワード (Ja): 琉球史, 琉球王国, 辞令書, 奄美 (あまみ) , 先島 (さきしま) キーワード (En): 作成者: 高良, 倉吉, Takara, Kurayoshi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/412

琉球大学法文学部紀要 日本東洋文化論集

創刊号抜刷 一九九五年三月 発行

琉球辞令書の一覧表と収集現況

高良倉吉

琉球辞令書の一覧表と収集現況

高良倉吉

一 主な調査・研究成果

琉球王国時代に発給された辞令書を総称して「琉球辞令書」と命名し、さらに「古琉球辞令書」「過渡期辞令書」「近世琉球辞令書」の三タイプに区分できる点については既発表の拙文の多くで指摘したところである。古琉球辞令書は尚真王（在位一四七七～一五二六年）期から薩摩軍の侵入（万暦三七＝一六〇九年）まで、過度期辞令書はそれ以後、向象賢が摂政に就任する康熙五年（一六六六）まで、近世琉球辞令書は康熙六年から琉球処分期までそれぞれ用いられており、三タイプの辞令書は継起的に推移した。

琉球辞令書に着目した仕事としては、伊波普猷「古琉球の『ひき制度』について」⁽¹⁾（一九三五年）や同「庫理について」⁽²⁾（一九四〇年）が古く、また、本格的な研究の嚆矢としては宮里栄輝「琉球古来の土地反別法」⁽³⁾（一九三七年）が特筆される。戦後、仲原善忠も「田名家文書におどろく」⁽⁴⁾（一九五七年）、「田名家文書試解」⁽⁵⁾（一九六四年）を書き、渡口真清も「田名家文書とその周辺」⁽⁶⁾（一九五九年）、「位階称号と筋目」⁽⁷⁾で辞令書を検討している。奄美地域の辞令書については山田尚二が孤軍奮闘の形で取り組み、「中世ノロ文書の紹介」⁽⁸⁾（一九六七年）、「奄美の古文書」⁽⁹⁾（一九七一年）、「奄美における古琉球の辞令書について」⁽¹⁰⁾（一九八八年）などの力篇を発表している。

琉球辞令書に関する画期的な調査成果となったのは、沖縄県教育委員会がまとめた『辞令書等古文書調査報告

書』(一九七九年)であり、これに右報告書の牽引的存在であった上江洲敏夫の「辞令書等古文書調査報告補遺」(一九八三〜八四年)を加えると、我々は奄美・沖縄・先島の辞令書を容易に一覧できるようにになった。さらに、一九八七年に沖縄県立博物館で開催された田名家文書企画展の図録『企画展・田名家所藏品展——ある首里士族の四〇〇年』(沖縄県立博物館)も貴重な資料となった。

いっぽう、琉球辞令書の研究に抜本的な展望を与えたものとしては安良城盛昭の「沖縄史研究の諸問題(その一)」「(一九七六年)、「地割制度の遺構としての津堅島の短冊型耕地形態」(一九七七年)、「古琉球の『さとぬし』ところ」(一九七八年)がある。辞令書を構造的に分析することの意義を論理的かつ実証的に明示した優れた成果であった。これに刺激を受けて、私も「古琉球辞令書の形式について」(一九七八年)、「古琉球の耕地区分の方法」(一九八二年)、「多良間島の辞令書とその背景——琉球社会における近世的転換の一端」(一九八六年)、「琉球王国における王府制度の特質——辞令書に見るヒキと庫理に関する覚書」(一九八七年)などを発表した。そして、分析結果の中間総括として『琉球王国の構造』(一九八七年、吉川弘文館)を書き、これの普及版に相当する『琉球王国』(一九九三年、岩波書店)を上梓したことがある。

その傍ら、私は琉球辞令書の収集に努めた。『琉球王国の構造』末尾の「残存古琉球辞令書一覧(含過渡期辞令書)」段階では古琉球辞令書五四点、過渡期辞令書一九点を把握していたにすぎなかったが、その後、「新発見の古琉球辞令書について」(一九九〇年)で古琉球辞令書一点(都合五六点)、過渡期辞令書一点(都合三〇点)を新規に加えた。また、「宮里栄輝ノート中の古琉球辞令書」(一九九二年)において古琉球辞令書一点を追加し、都合五八点を確認することができた。

近世琉球辞令書については「近世琉球辞令書とその概況」(一九九一年)を書き、一〇七点の把握結果を示した

が、その後、三点追加する資料を得たので、目下のところ一一〇点を提示しうるまでになっている。

以上、一九八点の琉球辞令書を現時点で私は把握している。

琉球辞令書の収集作業がなお継続されなければならないことはいうまでもない。その作業が一段落したところで、成果をテキストとして編集する必要があるが出てくる。本文の校訂をはじめ、法量・形状（写真など）・語釈・関連記事などを加え、多くの研究者が辞令書を容易に、また正確に利用できるような状況を準備することが私の責務だと考えている。

その日のために、琉球辞令書の収集作業の現況を一覧表にまとめてみた。
新情報を得るためであり、検索の便を考え、一覧表は簡略化して掲げてある。

二 琉球辞令書の一覧表

表1 古琉球辞令書一覧

No.	発給年月日	地域	受給者	給与内容
1	嘉靖二年八月二六日	沖繩	勢道富引のシホタルモイ文字	渡唐船宝丸の官舎職
2	嘉靖三年四月二〇日	沖繩	北の庫理の東風平の大屋子も	三ヌキ五ヨイの屋敷地等の給賜
3	嘉靖八年二月二九日	奄美	元的首里大屋子の子チャクモ イ	笠利間切の宇宿の大屋子職

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
嘉靖四十二年七月一七日	嘉靖四十二年七月一七日	嘉靖四十二年七月一七日	嘉靖四十二年二月五日	嘉靖三十九年八月八日	嘉靖三十八年一〇月一五日	嘉靖三十五年八月一一日	嘉靖三三年八月二七日	嘉靖三三年八月二九日	嘉靖三〇年四月一三日	嘉靖二七年一〇月二八日	嘉靖二四年一月六日	嘉靖二〇年八月一〇日	嘉靖一六年八月二〇日	嘉靖一五年五月一三日
沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	奄美	奄美	奄美	沖繩	奄美	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩
い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
南風の庫理の大嶺の大屋子も	アガルの掟	与那嶺の大屋子	南風の庫理の大嶺の大屋子も	北の庫理の瀬底の大屋子もい	今婦仁の掟	名音の掟	たらつるはん	謝国富引の沢の掟	南風の庫理の儀間金城の大屋子もい	東の首里大屋子	南風の庫理の天久の大屋子も	□□庫理のマサプロ文字	南風の庫理の天久の大屋子も	北の庫理の官舎
勢治荒富引の里主部家来赤頭の船頭職	今婦仁間切の具志堅の田畑等の給賜	上納規定、ひやうすく田、一五ヌキの畑を給賜	相応富引の家来赤頭の船頭職	豊見城間切の大嶺の里主所	より田畑を給賜	中城間切普天間の「ふうちふみき」の内	屋喜内間切の名柄の掟職	喜界の志戸桶間切の大城の大屋子職	真和志間切の儀間の里主所	瀬戸内西間切の西の大屋子職	真和志間切の儀間の金城の里主所	渡南蛮船勢治荒富の筑殿職	渡唐船世継富の船頭職	西原間切の天久の里主所

19	嘉靖四五年一〇月八日	沖繩	君南風の大阿母	二カリヤ三オツカの田、七〇ヌキの畑の 給賜
20	〔嘉靖年間〕	奄美	笠利のヒガセト	瀬戸内東間切の首里大屋子職
21	隆慶二年八月二四日	奄美	喜瀬の大屋子	笠利の首里大屋子職
22	隆慶二年八月二四日	奄美	喜瀬の大屋子	瀬戸内東間切の首里大屋子職
23	隆慶三年正月五日	奄美	元のノロの妹あくかたる	喜界の東間切の阿伝ノロ職
24	隆慶五年六月一日	奄美	名柄の掟	瀬戸内東間切のアキニヤ目差職
25	隆慶六年正月一八日	奄美	大和浜目差	屋喜内間切の屋喜内の大屋子職
26	隆慶六年正月一八日	奄美	瀬戸内東のアクニヤ目差	屋喜内間切のサキハル目差職
27	万曆二年五月二八日	奄美	瀬戸内西間切の古志□□	七カリヤ五オツカ四二ツカの田等の給賜
28	万曆二年五月二八日	奄美	瀬戸内西間切の須古茂のクチ の妹ネタチ	五カリヤ八オツカ二八ツカの田等の給賜
29	万曆二年五月二八日	奄美	瀬戸内西間切の須古茂のアカ ヒトウの子タル	六カリヤ六オツカ七六ツカの田等の給賜
30	万曆二年五月二八日	奄美	瀬戸内西間切の古志のサカイ	八カリヤ四ツカの田等の給賜
31	万曆五年九月六日	沖繩	北谷掟	一五〇ヌキの畑等の給賜
32	万曆七年五月五日	奄美	屋喜内の大屋子	屋喜内間切の部連の大屋子職
33	万曆七年一〇月一日	奄美	南風の庫理の東の首里大屋子	名瀬間切の首里大屋子職
34	万曆九年四月四日	沖繩	元のノロの妹マシフリ	越来間切の恩納ノロ職、田畑の給賜
35	万曆一〇年八月二日	沖繩	元の大阿母の姪オトマスモイ	那覇の大阿母職
36	万曆一〇年八月二日	沖繩	元の大阿母の姪オトマスモイ	二カリヤの田、五〇ヌキの畑等の給賜
37	万曆一一年正月二七日	奄美	元のノロの姪ツル	屋喜内間切の名柄ノロ職

38	万曆二年五月二日	沖繩	元のノロの子マカトウ	金武間切の恩納ノロ職
39	万曆三年五月一日	沖繩	元のノロの孫マナベ	東風平間切の世名城の岸本ノロ職、田畑の給賜
40	万曆一四年五月九日	沖繩	浦崎目差	ひようすく田、一五ヌキの畑等の給賜
41	万曆一五年二月二日	沖繩	安田の大屋子	国頭間切の安田の里主所の給賜
42	万曆一五年二月二日	沖繩	読谷山旋	国頭間切の安田の「しろいま」の給賜
43	万曆一五年七月八日	沖繩	伊平屋の首里大屋子	五カリヤ三オツカ五〇ツカの田等の給賜
44	万曆一五年一〇月四日	奄美	元のノロの姪マクモ	名瀬間切の大熊ノロ職
45	万曆一六年五月一六日	奄美	宇宿の大屋子	瀬戸内東間切の首里大屋子職
46	万曆二〇年一〇月三日	沖繩	玉城の大屋子	六カリヤの田、一四〇ヌキの畑等の給賜
47	万曆二一年五月一六日	沖繩	北の庫理の儀間の里主大屋子	真和志間切の儀間の里主所
48	万曆二三年正月二日	沖繩	君南風の大阿母	せちよく田、一〇ヌキの畑等の給賜
49	万曆二三年八月二九日	先島	大宮古間切の下地の太首里大屋子	三カリヤの田、一〇〇ヌキの畑、七名の
50	万曆二三年九月二日	奄美	屋子	「すかまくち」等の給賜
51	万曆一八年正月二四日	奄美	インホシ大サチ	瀬戸内西間切の西の旋職
52	万曆三〇年九月一〇日	奄美	元のノロの子マナベダル	徳の西銘間切の手々ノロ職
53	万曆三二年九月一八日	沖繩	今帰仁按司の御前丑日番の赤頭のサチ	瀬戸内西間切の古志ノロ職
54	万曆三三年九月一八日	沖繩	元のノロの子マウシ	今帰仁間切の辺名地目差職
		沖繩		今帰仁間切の中城ノロ職

表2 過渡期辞令書一覽

No.	発給年月日	地域	受給者	給与内容
1	万曆四〇年二月八日	沖繩	クワシマ文字	今婦仁間切の与那嶺の大屋子職
2	万曆四〇年二月□日	沖繩	巳日番の□□	今婦仁間切の謝花掟職
3	万曆四五年□月□日	沖繩	那覇の太文字	渡唐船浮豊見の官舎職
4	天啓二年一〇月一日	沖繩	元のノロの孫ヒヤカナ	羽地間切の大ノロクモイ職
5	天啓五年四月二〇日	沖繩	元のノロの孫オトウ	羽地間切の屋我ノロ職
6	天啓五年一〇月一四日	先島	石垣の首里大屋子	八重山間切石垣村より知行高二〇石
7	天啓六年八月二八日	先島	あらぬとの筑	八重山間切のあらぬと目差職
8	天啓七年六月二日	沖繩	南風の庫理の儀間の大屋子も	真和志間切儀間村より知行高三〇石
9	天啓八年四月二八日	沖繩	い 北の庫理の里之子大屋子もい	仕上世奉行職
10	崇禎四年九月二日	先島	イルイ筋目差	大宮古間切の仲筋目差職
58	万曆三十七年二月一日	奄美	朝戸掟	名瀬間切の西の里主職
57	万曆三五年七月一五日	沖繩	元のノロの子マカトウ	今婦仁間切の具志川ノロ職、五〇ヌキの畑の給賜
56	万曆三五年六月六日	奄美	イシユモイ文字	名瀬間切の朝戸掟職
55	万曆三四年八月一日	沖繩	北の庫理の押明富の船頭大屋 子もい	謝国富引の里主部家来赤頭の船頭職

11	崇禎四年二月二五日	沖繩	南風の庫理の儀間の里之子親 雲上	真和志間切儀間村より知行高三〇石
12	崇禎七年八月八日	沖繩	儀間子	勢遣富引の里主部家来赤頭の筑殿職
13	崇禎一六年一〇月三日	沖繩	今婦仁御殿のもゝなみの大屋 子	今婦仁間切の与那嶺の大屋子職
14	弘光元年八月一〇日	先島	仲筋目差	大宮古間切の仲筋与人職
15	隆武三年八月二八日	先島	仲筋与人	大宮古間切の多良間首里大屋子職
16	隆武八年二月五日	沖繩	元のノロの子カナ	今婦仁間切の中城ノロ職
17	順治九年一〇月九日	先島	マサリ	大宮古間切の水納目差職
18	順治一〇年正月一〇日	沖繩	屋富祖子	船奉行の脇筆者職
19	順治一〇年八月二八日	沖繩	元のノロの子マウシ	久米具志川間切の具志川ノロ職
20	順治一三年正月二〇日	沖繩	ハルマイ	今婦仁間切の本部目差職
21	順治一五年七月二八日	沖繩	本のノロの子マゼニ	金武間切の恩納ノロ職
22	順治一六年己亥六月一五 日	沖繩	首里大屋子	渡名喜島の大屋子職
23	順治一七年庚子二月一 五日	沖繩	儀間子	勢高富引の里主部家来赤頭の筑殿職
24	順治一八年辛丑正月二三 日	沖繩	本のノロの姪マフシ	中城間切のヨキヤノロ職
25	康熙二年八月一五日	沖繩	本のノロの子オトウ	読谷山間切の城ノロ職
26	康熙三年甲辰四月四日	沖繩	与那嶺子	今婦仁間切の西目差職
27	康熙三年甲辰八月四日	沖繩	与那嶺旋	久米具志川間切の垣花の大屋子職

表3 近世琉球辞令書一覽

No.	発給年月日	地域	受給者	給与内容
1	寛文七年丁未四月九日	沖繩	与那嶺大屋子	今婦仁間切の上間大屋子
2	康熙一〇年辛亥正月一七日	沖繩	儀間筑登之親雲上	真和志間切儀間里主所
3	康熙一九年庚午五月二日	沖繩	島袋筑登之親雲上	美里間切登川大屋子
4	康熙三七年戊寅五月一六日	沖繩	儀間筑登之親雲上	豊見城間切田頭里主所
5	康熙四四年乙酉八月一八日	沖繩	上間にや	羽地間切我部祖河大屋子
6	康熙四八年己丑十一月四日	沖繩	前田頭親雲上	小祿間切儀間里主所
7	康熙五〇年辛卯六月三日	沖繩	比嘉にや	久米仲里間切比嘉大屋子
8	康熙五一年壬辰六月一七日	沖繩	儀間親雲上	兼城間切武富里主所
9	康熙五二年癸巳九月一三日	沖繩	比嘉親雲上	久米仲里間切比嘉大屋子
10	康熙五二年癸巳二月二日	沖繩	武富親雲上	鍛冶奉行
11	康熙五六年丁酉四月七日	沖繩	比嘉にや	久米仲里間切比嘉大屋子
12	康熙五六年丁酉四月二三日	沖繩	猶子玉寄按司	伊江島惣地頭
13	康熙五七年戊戌正月二六日	沖繩	武富親雲上	渡嘉敷間切惣地頭
14	康熙五九年庚子六月一五日	沖繩	渡嘉敷筑登之親雲上	渡嘉敷間切惣地頭

28	康熙五年丙午四月二三日	沖繩	中里親雲上	読谷山間切の仲邑里主所
29	康熙五年丙午五月一九日	沖繩	タツル	見里間切の西目差職
30	(年代不明)	沖繩	モナミ	渡名喜島首里大屋子職

15	雍正二年甲辰二月一六日	沖繩	渡久地筑登之親雲上	渡嘉敷間切阿波連里主所
16	雍正三年乙巳五月一五日	沖繩	石川（一）親雲上	美里間切（一）大屋子
17	雍正九年辛亥八月一日	沖繩	向氏伊江按司朝良嫡子思次良按司朝倚	伊江島大城
18	雍正一〇年壬子二月六日	沖繩	蔡氏安波連親雲上政房	御物城
19	雍正一〇年壬子四月二二日	沖繩	麻氏次男渡嘉敷子真富	渡嘉敷間切惣地頭
20	雍正一一年癸丑二月六日	沖繩	蔡氏阿波連親雲上政房	具志頭間切喜納里主所
21	雍正一三年乙卯四月八日	沖繩	尚姓思戶金按司	中城間切瑞慶覽
22	乾隆元年丙辰四月二九日	沖繩	向氏猶子東江仁屋朝典	伊平屋島銘苅大屋子
23	乾隆四年己未六月八日	沖繩	尚氏大城按司朝倚	知行高五〇石
24	乾隆六年辛酉七月一〇日	沖繩	尚氏猶子島尻筑登之朝義	伊平屋島銘苅大屋子
25	乾隆七年壬戌二月一五日	沖繩	郭氏嫡子思龜正恵	小祿間切赤嶺里主所
26	乾隆一一年丙寅一月八日	沖繩	尚氏嫡子大城按司朝倚	伊江島惣地頭并知行高一〇〇石
27	乾隆一四年己巳七月一九日	沖繩	麻氏嫡子渡嘉敷子真忠	渡嘉敷間切惣地頭
28	乾隆一五年庚午二月二〇日	沖繩	嫡子□政盛喜納里之子親雲上	恩納間切名嘉真里主所
29	乾隆一八年癸酉二月一日	沖繩	麻氏四男渡嘉敷筑登之親雲上真安	（金武）間切佐久本
30	乾隆二〇年乙亥七月一九日	沖繩	尚氏伊江按司朝倚嫡子思加那按司朝徳	伊江島大城
31	乾隆二四年己卯四月一日	沖繩	麻氏佐久本親雲上真安	中城間切渡口里主所
32	乾隆二四年己卯二月一日	沖繩	麻氏渡嘉敷里之子親雲上真勝	渡嘉敷間切惣地頭
33	乾隆二七年壬午八月二一日	先島	山陽氏西表首里大屋子長季	八重山島頭大浜大首里大屋子
34	乾隆三三年戊子二月二七日	沖繩	麻氏嫡子渡嘉敷里之子親雲上真喜	渡嘉敷間切惣地頭

52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	
嘉慶八年癸亥二月十八日	嘉慶二年丁巳六月二一日	乾隆五五年庚戌三月二一日	乾隆五二年丁未五月一三日	乾隆五〇年乙巳四月二六日	乾隆四九年甲辰四月二九日	乾隆四七年壬寅一〇月一八日	乾隆四七年壬寅二月一一日	乾隆四五年庚子五月一一日	乾隆四四年己亥四月一三日	乾隆四二年丁酉四月一二日	乾隆四〇年乙未九月二六日	乾隆四〇年乙未九月二六日	乾隆三八年癸巳八月三日	乾隆三七年壬辰一二月一一日	乾隆三七年壬辰七月八日	乾隆三六年辛卯六月一一日	乾隆三四年己丑六月一五日	
沖繩	先島	沖繩	先島	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	先島	先島	先島	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	
麻氏嫡孫渡口子真昆	山陽氏西表首里大屋子	尚氏大城按司朝郁	松茂氏西表首里大屋子当克	蔡氏嫡子屋嘉部里之子親雲上政賀	尚氏瑞慶覽按司	蔡氏古堅親雲上政知	蔡氏古堅親雲上政知	尚氏瑞慶覽按司	麻氏嫡子渡嘉敷思龜真幸	山陽氏大川与人長致	長榮氏桃原与人真般	夏林氏川平与人賢永	潔	向氏伊江按司朝德嫡子思次良金按司朝	麻氏嫡子儀間筑登之親雲上真令	麻氏嫡子渡口里之子親雲上真英	蔡氏嫡子喜納里之子親雲上政知	傅氏嫡子田崎里之子厚佐
中城間切渡口里主所	八重山島頭大浜大首里大屋子	石	伊江島惣地頭并知行高一〇〇	玉城間切屋嘉部里主所	行高一〇〇石	聞得大君并知念間切惣地頭知行高一〇〇石	御物城	南風原間切津嘉山按司掛	伊平屋島田名里主所	八重山島頭大浜大首里大屋子	八重山島頭宮良大首里大屋子	八重山島頭大浜大首里大屋子	伊江島大城	久志間切有銘	中城間切渡口里主所	誦谷山間切古堅里主所	知行高一五石	

72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53
道光一八年戊戌二月一日	道光一七年丁酉二月一日	道光一七年丁酉二月一日	道光一五年乙未五月二三日	道光一二年壬辰一〇月三日	道光一二年壬辰六月二六日	道光一二年辛卯七月九日	道光九年己丑五月一八日	道光八年戊子二月一日	道光七年丁亥二月一日	道光七年丁亥七月三〇日	道光五年乙酉一〇月二四日	道光三年癸未五月二九日	道光元年辛巳一〇月二日	嘉慶二四年己卯八月一六日	嘉慶一七年壬申四月一日	嘉慶一二年丁卯十一月八日	嘉慶一二年丁卯六月一日	嘉慶一〇年乙丑八月一五日	嘉慶一〇年乙丑五月一二日
沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	先島	先島	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	先島	先島	先島	先島	沖繩	先島	沖繩	沖繩
嫡子周大光古謝通事親雲上	向氏棚原親方朝矩	向氏川平里主朝範姉真鶴	尚氏猶子大城王子朝忠	麻氏跡目田名里子親雲上真彬	白川氏松原首里大屋子惠宝	夏林氏波照間首里大屋子賢栄	毛氏嫡子嵩原樽金安綱	向氏普天間親雲上朝平	麻氏三男渡口里之子親雲上真宣	向氏嫡子真蒲戸金按司朝要	向氏伊江里之子親雲上朝平	白川氏松原首里大屋子惠草	白川氏狩俣首里大屋子惠孝	松茂氏与那国首里大屋子当演	夏林氏西表首里大屋子賢則	尚氏大城按司朝英	白川氏友利首里大屋子惠寛	尚氏伊江按司朝郁嫡子思加那金按司朝英	麻氏嫡子田名子真英
中議大夫	御物奉行	中城間切瑞慶覽	伊江島惣地頭	伊平屋島田名里主所	宮古島頭平良大首里大屋子	八重山島頭宮良大首里大屋子	美里間切惣地頭并知行高三〇石	御双紙庫理并知行高四〇石	勝連間切新嘉喜	伊江島惣地頭并知行高四〇石	宜野灣間切普天間里主所	宮古島頭平良大首里大屋子	宮古島頭平良大首里大屋子	八重山島頭宮良大首里大屋子	八重山島頭宮良大首里大屋子	宮古島惣地頭并知行高八〇石	宮古島頭平良大首里大屋子	伊江島大城	伊平屋島田名里主所

93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73
同治二年癸亥三月三日	同治二年癸亥二月一日	咸豐二年壬戌五月二日	咸豐二年辛酉二月一日	咸豐八年戊午十一月六日	咸豐八年戊午四月二日	咸豐七年丁巳二月九日	咸豐六年丙辰九月二五日	咸豐五年乙卯八月一日	咸豐二年壬子十一月四日	咸豐二年壬子四月五日	咸豐元年辛亥八月一日	咸豐元年辛亥八月一日	咸豐元年辛亥三月二六日	道光三〇年庚戌二月六日	道光二八年戊申二月一日	道光二八年戊申二月一日	道光三年癸卯七月二九日	道光二年壬寅七月二日	道光二年辛丑三月一五日	道光一八年戊戌二月二七日
沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	沖繩	先島	沖繩	沖繩	先島	先島	先島	先島	沖繩	沖繩	沖繩	先島	先島	沖繩	沖繩
毛克述新嘉喜親雲上	嫡子毛克述奧間里之子親雲上	嫡子毛克述奧間里之子親雲上	周大光阿加嶺親方	向氏大灣親雲上朝忠	嫡子毛克述奧間里之子親雲上	夏林氏黒島首里大屋子賢保	向氏三男板良敷里之子親雲上朝展	尚姓国場按司	嫡子毛克述奧間里之子親雲上	女子いんづめい	山陽氏古見首里大屋子長房	向裔氏狩俣首里大屋子朝祥	麻氏嫡子田名里之子親雲上真義	嫡子周大光古謝通事親雲上	嫡子周大光古謝通事親雲上	前大阿母嫁まひなま	白川氏狩俣首里大屋子惠章	尚氏伊江王子朝忠	三男金成勲豐里里之子親雲上	
浦添間切伊祖里主所	勝連間切新嘉喜	三司官并加增知高三一〇石	正議大夫	知行高二〇石	真和志間切牧志里主所	長史	八重山島頭宮良大首里大屋子	誦谷山間切大灣里主所	西原間切翁長按司掛	中議大夫	八重山島大阿母	八重山島頭宮良大首里大屋子	宮古島頭下地大首里大屋子	伊平屋島田名里主所	久志間切有銘	正議大夫	八重山島大阿母	加增知高一〇〇石	宮古島頭平良大首里大屋子	中議大夫

94	同治二年癸亥三月二十九日	先島	忠導氏狩俣首里大屋子玄安	宮古島頭平良大首里大屋子
95	同治三年甲子二月二十四日	沖繩	尚氏伊江王子朝忠奧方	宜野灣間切安良城
96	同治四年乙丑二月一日	沖繩	尚氏古堅親雲上朝賀	泊地頭并知行高四〇石
97	同治五年丙寅二月一日	沖繩	蔡氏嫡子屋嘉部里之子親雲上政宜	御物城
98	同治五年丙寅二月一日	沖繩	蔡氏嫡子屋嘉部里之子親雲上政宜	南風原間切仲本
99	同治六年丁卯六月二三日	沖繩	女孫なへ	久米島君南風あむしられ
100	同治六年丁卯八月一日	沖繩	蔡氏仲本親雲上政宜	宜野灣間切新城里主所
101	同治六年丁卯九月五日	先島	山陽氏古見首里大屋子長有	八重山島頭石垣大首里大屋子
102	同治八年己巳四月八日	沖繩	東氏嫡子真志喜里之子親雲上政忠	宜野灣間切真志喜里主所
103	同治一〇年辛未二月一日	沖繩	貝氏高里親雲上唯延	御物城
104	同治一一年壬申八月二五日	先島	松茂氏古見首里大屋子当宗	八重山島頭宮良大首里大屋子
105	同治一二年癸酉二月一八日	沖繩	尚氏伊江王子朝直	久米具志川間切惣地頭
106	同治一二年癸酉九月一四日	沖繩	魚氏次男許田筑登之親雲上普薫	美里間切伊波里主所
107	同治一三年甲戌八月二九日	先島	土原氏松原首里大屋子春信	宮古島頭平良大首里大屋子
108	同治一三年甲戌九月二日	沖繩	尚氏伊江王子朝直	恩納間切惣地頭
109	同治一三年甲戌九月二二日	沖繩	尚氏伊江王子朝直	加增知高二〇〇石
110	光緒四年戊寅十二月一日	沖繩	蔡氏次男仲本里之子親雲上政隆	今婦仁間切親泊

(注)

- (1) 『伊波普猷全集』第九卷所収、平凡社、一九七五年
(2) 同右第四卷所収

- (3) 伊波普猷先生記念論文集編纂委員会編『南島論叢』、のち新里恵二編『沖繩文化論叢』1(平凡社、一九七二年)所収
- (4) 『仲原善忠全集』第二卷所収、沖繩タイムス社、一九七七年
- (5) 同右所収
- (6) 『琉球新報』一九五九年二月一七日～二二日連載
- (7) 渡口『近世の琉球』所収、法政大学出版社、一九七五年
- (8) 『奄美郷土研究会報』第九号、のち島尾敏雄編『奄美の文化』(法政大学出版社、一九七六年)所収
- (9) 『沖繩文化』三三・三四合併号
- (10) 『鹿児島県錦江湾高等学校研究紀要』第一二巻
- (11) 『沖繩県立博物館紀要』第九～一〇号
- (12) 安良城『新・沖繩史論』所収、沖繩タイムス社、一九八〇年
- (13) 『津堅島地割調査報告書』(沖繩県教育委員会)、のち安良城『新・沖繩史論』所収
- (14) 『琉球新報』一九七八年六月二七日～二九日連載、のち安良城『新・沖繩史論』所収
- (15) 『沖繩史料編集所紀要』第三号、のち高良『沖繩歴史論序説』(三一書房、一九八〇年)所収
- (16) 『歴史研究』第二六二号(新人物往来社)、のち高良『琉球王国史の課題』(ひるぎ社、一九八九年)所収
- (17) 『歴史研究』第三一・三二合併号(愛知教育大学歴史学会)、のち高良『琉球王国史の課題』所収
- (18) 田中健夫編『日本前近代の国家と対外関係』(吉川弘文館)、のち高良『琉球王国史の課題』所収
- (19) 『浦添市立図書館紀要』第二号、一九九〇年
- (20) 『浦添市立図書館紀要』第四号、一九九二年
- (21) 仲松弥秀先生傘寿記念論文集刊行委員会編『神・村・人——琉球弧論叢』、第一書房、一九九一年